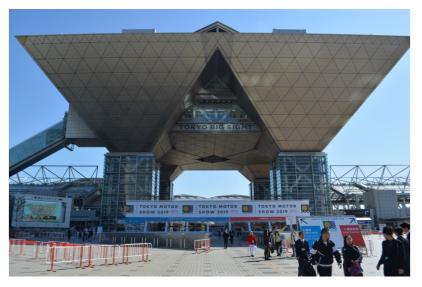
第 46 回東京モーターショー2019 が開幕しました



第 46 回目の東京モーターショーが、東京ビッグサイトおよびお台場周辺エリアにて始まりました。 10 月 23 日(水)からのプレスデーを皮切りにして、オフィシャルデー/特別招待日、プレビューデーと 続き、一般公開は10月 25日(金)から11月4日(月)までの11日間の日程で開催されます。

今回のモーターショーでは、『OPEN FUTURE』をテーマにして、世界8か国、総勢192企業・団体が参加、開催エリアをお台場周辺エリア全域まで拡大し、オールインダストリーで「クルマ・バイクのワクワクドキドキ」から「未来の暮らし」「未来の街」まで領域をひろげ、来場者に未来のモビリティ社会を感じられるイベントとなっています。また、協豊会会員会社からも多くの会社が出展しています。



トヨタブース ブリーフィングの様子



LEXUS ブース ブリーフィングの様子

10月23日の午後、青海展示棟トヨタブースで行われたプレスブリーフィングでは、豊田社長が大勢の報道関係者を前にして『人工知能・自動化が急激に進む中、トヨタは人間同士が繋がる社会、人のぬくもりや優しさを感じることができる社会、「ヒューマンコネクティッド」として、「人が中心に居続ける未来」を描いています。今後のトヨタにご期待ください。』とお話をされました。

トヨタさんの展示ブースでは、『PLAY THE FUTURE』をテーマにした、未来を体感できる「モビリティのテーマパーク」として、様々なコンセプトカー展示や、体験イベントが用意されています。



「LEXUS LF-30 Electrified」



「GRANACE」





「MIRAI Concept」



「e-RACER」



「i-ROAD」



「e-Palette」



[e-Care]



「OPEN ROAD の様子」



「FUTURE EXPO 入口」